

上映会場の前でブースを出して、お客様にPRしてみませんか？

## 協賛ブース出展のご案内

このたびNPO国際ヒーリング看護協会主催にて、  
第9回命輝く医療とはシンポジウム「生死の隙間にみせる奇跡～在宅での看取りドキュメンタリー映画「いきたひ」上映会—」を

2016年7月30日（土）大阪府岸和田市 会場：浪切ホール4階特別会議室にて開催します。このイベントにてブース出展して下さる方、及び企業様を募集しております。

このシンポジウムでは「生死～いきたひ～」を制作した長谷川裕子監督と、作中にも登場する看取り士の柴田久美子さんをお招きして「在宅における看取り」についてのパネルディスカッションも予定しております。

2025年問題といえば少子高齢社会が注目されていますが、この社会現象の裏には「多死時代」という象徴も含まれています。病院で、或いは施設で、在宅で、高齢になった方々を看取ることが増える時代とも言えるでしょう。

そのため、現代の医療業界では「看取り」に関するあらゆる模索がなされており、患者様、或いは療養者様やご利用者様が「終末期を如何に『自分らしく』過ごせるか」といった支援を行うため、様々な研修や勉強会が行われております。

今回上映させて頂く「生死～いきたひ～」は、長谷川監督のご主人が逝去されるまでの記録をドキュメンタリーとした内容で、看取り士である柴田さんはこの作中にも登場されます。「看取り士」という言葉を初めて聞かれた方も多いかと存じますが、看取り士というのは「最期の瞬間に寄り添う」ということを目的に養成された人達のことをいいます。誕生する時は誰もが助産師、昔であれば産婆が寄り添ったように、旅立つ時も看取り士が寄り添って送り出す——という主旨の活動です。

今まで日本においては「死」という言葉をタブー視し、より長く生きられた者は幸福という考え方が一般的でしたが、今の時代において人生の価値は「時間」ではなく「質」にあるといった方向へと転換を遂げようとしています。

そのため、看取りに際する活動、および看取り士の活動は、今後さらに一層注目する流れとなることが予測されます。また、こうした「看取り」に関する普及活動は、多くのマスメディアにとっても興味深い内容であると言えるでしょう。

このイベントにおいて「ブース出展」をして頂ける方を募集しております。個人参加、企業参加問いません。皆様のお力添えでイベントを盛り上げて頂けたら幸甚です。

NPO 法人国際ヒーリング看護協会  
理事長 中 ルミ

## ブース申込詳細について

イベント参加予定人数 200名

ブース出展は20ブースまでとさせていただきますが、出展内容が当協会の活動趣旨に沿っているかを検討させていただき、後日、出展採否のご連絡をさせていただきますので、ご了承の程、お願い申し上げます。

※IHAN 会員とは「国際ヒーリング看護協会会員」の略字となっております。

【個人参加:IHAN 会員】 8000 円 ※スタッフ2名までの入場代込(机、椅子2個まで貸出)

【個人:非会員】 10000 円 ※スタッフ2名までの入場代込(机、椅子2個まで貸出)

【法人:IHAN 会員】 15000 円 ※スタッフ2名までの入場代込(机、椅子2個まで貸出)

本イベントチケット2枚付

【法人:非会員】 20000 円 ※スタッフ2名までの入場代込(机、椅子2個まで貸出)

本イベントチケット2枚付

●机のサイズ 180cm×45cm です。

チラシ・ポスター発送先

〒595-0072 泉大津市松之浜町1-13-1

国際ヒーリング看護協会

田中 奈々美 宛

TEL 070-6960-6333 FAX 020-4664-2838

<お振込み先 >

■京葉銀行

店番号 441

口座番号 7883061

名義 特定非営利活動法人 国際ヒーリング看護協会 理事長 中 ルミ

※PCからの入力の名義は以下になります。

トクヒ)コクサイヒーリングカンゴキョウカイ

になります。

入金後お手数をおかけいたしますがご一報いただけますと

スムーズにお手続きができ助かります。

※ お振込みを確認させていただきました時点で、予約確定とさせていただきます。

また、お振込み後のキャンセルに伴う返金はいたしかねますのでご了承ください

